FMC

野菜用殺虫剤

プリロッソ®

粒剤

powered by
CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT

食害を長期間
確実に止める。
品質・収量を上げる。

- 3~4週間、高い効果を発揮
- 新規系統の粒剤で効果的な抵抗性管理
- ネギアザミウマ、ネギハモグリバエの食害を速やかに停止

ネギアザミウマ

ネギハモグリバエ

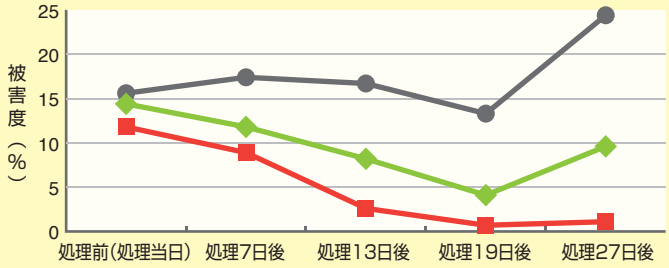
使用方法と使用タイミング

- プリロッソ®粒剤は、水分を得ることで有効成分が溶出し、高い効果を発揮します。
  そのため、適度な土壌水分が確保されている状態が最適です。
- 散布後に灌水を行ったり、降雨の前後をねらって散布してください。

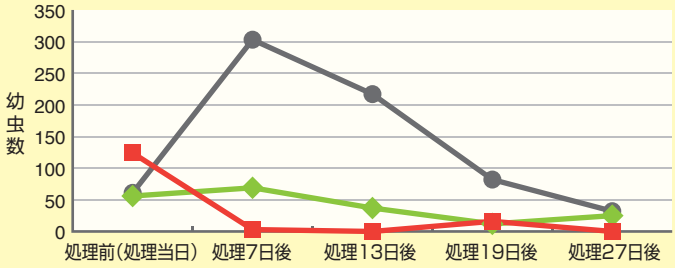
定植時～土寄せ1回目までの使用で、3～4週間の高い効果を発揮

殺虫効果の高さと残効の長さ

ネギハモグリバエに対する防除効果



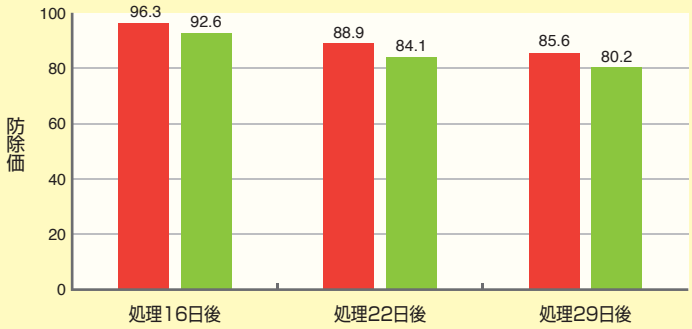
ネギアザミウマに対する防除効果



2019年 鳥取県園芸試験場弓浜砂丘地分場
品種：関羽一本太（トーホク）　播種：2月20日　定植：5月8日　処理：6月13日（6kg/10a株元散布し、土寄せした）
考察：対照薬剤と比較して高い効果が認められた。

プリロッソ®粒剤　対照A剤　無処理

ネギハモグリバエ（B系統）に対する防除効果



プリロッソ®粒剤　対照A剤
2019年 一般社団法人日本植物防疫協会 茨城研究所
播種：3月28日
定植：5月13日
処理：5月14日（所定量株元に散布し、散布後十分量灌水した）
考察：対照薬剤と比較して勝る防除効果が認められた。発生したネギハモグリバエは葉面が白化症状を呈し、これまで知られているマイン形成と異なり、新系統（B系統）の可能性が高いと思われる。

■適用害虫と使用方法（適用表から一部抜粋）

2020年8月26日現在

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6kg／10a	収穫前日まで	3回以内	株元散布	4回以内 （定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内 （但し、株元灌注は1回以内））

*ねぎのほかキャベツ、はくさい、ブロッコリー、レタス、ピーマン、トマト、ミニトマト、きゅうり、なす、だいこん、畑わさび、なばな類にも適用があります。

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
●空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

©2020 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

日産化学株式会社
東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ https://www.nissan-agro.net/
お客様窓口 TEL.03-4463-8271（9:00～17:30 土日祝日除く）